

令和3年度 1・2年生に贈る「進路体験記」

①進路希望を決めた「きっかけ・理由・ポイント」

将来の職業を考え、その職業に就くための学校を探した。自分のやりたいことができるか。進路ガイダンスで話を聞き、オープンキャンパスにも参加した。察があったため。資格・免許が取得でき、野球と勉強を両立できるため。学部選択は保護者の影響もあった。誰かに尽くしたい、助けたいという思いや親戚の働く姿を見て、看護師を目指そうと思った。保護者に相談し、「自分の好きなことを学べる学校に行ってい。」と言われたため。美容師になるという夢を叶えるため、雰囲気、設備、授業の様子などを何度も見て決めた。通学が楽だったため。自分の考えをまとめてから決めるといいと思います。母のすすめ。色々な学校の説明会に行くことが大事。進路ガイダンスで多くのことを学べるとわかったから。自分が大学には向かないと思ったため。その学校でしか取れない資格を取りたいと考えたから。絵を描く仕事に就きたいため、自分のできることを増やしたいと思ったから。学費が安いから。高3になって動物看護師という夢が決まった。学校は親との話し合いで決めた。その学校でしか行われない行事やイベント、研修、コンテストなど貴重な体験ができるため。九州から離れて生活してみたかった。志望する企業から求人があり、担任に勧められたため。複数の職場体験に参加し、自分にあっている所を選んだ。最も行きたい都道府県だったため。動物の観察が大好きだったため。オープンキャンパスでその学校の特徴や良さを知ることが大事。高校入学時に進学先は決めていた。県外で多くの物に触れ、新たな価値観を獲得したかった。ニュースがきっかけで、将来なりたいものを見つけることができた。数学の教員免許が取れ、ITやICT機器の使用等についても学ぶことができるため。

②受験勉強・就職対策で「これだけは頑張った」と言えること

学費免除のための勉強を頑張った。漢字の書き取り。自分のアピールポイントを増やした。面接ノートに沢山のことを書き込み、面接練習をした。どんな質問にも対応出来るようにした。毎日、小論文を書いた。文章の作り方を練習した。志望動機や自己PRを考えること。1年生のときから良い成績を取るようになっていた。誰よりも面接練習を頑張った。アピールシートや面接で1つの言葉の意味や重み、日本語の難しさに気づかされた。数Ⅰ、現代文の筆記試験のための勉強。起承転結を意識した文章づくり。事前の情報集め。夢を叶えたいという気持ちを伝えるため、何度も文章を考え直し面接練習に取り組んだ。言葉たらずや言葉遣いに気を付けた。受験直前は準備していない質問だけしてもらい練習した。自主的に危険物取扱者などの資格を取りに行った。受験する企業に関する本を沢山読んだ。面接練習を積極的にお願ひし、アドバイスを自分なりに紙にまとめた。課題作文の作成。出題されそうにない問題にも目を通し、理解すること。過去問やその類題を沢山解いた。志望理由書のため、専門知識について大学の論文を沢山読んだ。先生5人による圧迫面接練習。数学の勉強。苦手な分野が解けるよう頑張った。

③受験勉強・就職対策で「もっとこうしていれば良かった」と思うこと

1, 2年生の頃もっと勉強していれば。夢を早く見つけて親ともう少し話し合うべきだった。もう少し早く進路を決定し、対策を始めていれば。過去問をもっと研究しておく必要があった。面接練習をもっと早くから始めるべきだった。普段から言葉遣いに気をつけていれば。もっと専門的な質問に対応しておくべきだった。周りの人と話し合うことも大切。作文練習。就職対策のテキストにもっと真剣に取り組むべきだった。多くの先生に面接練習をお願いすべき。受験日の詳細など、第2志望についても確認しておく。2学期からの準備では遅い。時間に余裕を持って取り組むことが大切。漢検や英検など資格取得に取り組むべきだった。受験報告書を活用する。過去問にこだわりすぎない。自分にできることはすべてやった。

④進路希望を決めてからの生活習慣

新聞、ニュースなどに気をつけていた。時間を見つけて、過去問、漢字、面接準備に取り組んだ。授業終了後、19時頃まで毎日学校で小論文対策をした。家では午前2時頃まで練習した。職業に関するニュースを調べ、面接練習は先生だけでなく友達にも面接官役をしてもらった。自宅では志望校の校訓やカリキュラムを調べ、面接準備をした。毎日遅くまで、数学を教えてもらったり面接指導を受けたりした。休み時間も有効に活用した。就寝の時間が遅くなった。遊びに行く回数を減らした。小論文練習は5月頃から始めた。生徒指導を受けることがないように気をつけた。緊張感を持って面接練習に取り組んだ。学校では面接練習をし、家では先生のアドバイスを参考に、文を書き直すことを繰り返した。夜寝る前に、面接で答える内容を、声に出して練習した。勉強をするようになった。特に大きくは変わらなかったが、過去問を解いた。スマホの使用時間を減らした。スマホのロック画面を「〇〇大学跡地」の石碑にした。遅刻・欠席をしないように努力した。知り合いからマネキンをもらい、ワイディングなどの練習をしている。帰りが遅くなった。1日2時間は筆記の勉強をして、面接ノートを見直し声に出して練習した。学校内だけでなく、学校外でも生活態度、身だしなみ、言葉遣い等に気をつけた。

⑤進路実現に役立ったもの・情報、頼りになった人

面接ノート。面接練習。インターネット(ホームページ)。保育実習や学童ボランティア。オープンキャンパス(オンラインを含む)。学校や会社のパンフレット。専門知識の論文。求人票。図書館の本や資料。職場見学や実際に働いている方のお話。先輩方が書いてくれた受験報告書。進学先のLINEやInstagram。SNS。担任や面接指導、小論文指導をしていただいた先生(名前は省略)。友達。家族。進路先に進学した先輩。先に受験を終えた級友。進学先への直接の問い合わせ。

⑥進路希望が決まる前であってもしておくべきこと

オープンキャンパスへの参加。言葉遣いの練習。面接練習。挨拶や身なりをしっかりとる。挨拶や敬語をきちんと勉強しておく。職場体験。親の説得。ニュースを見る。運動。自分の夢をはっきりさせる。英検などの資格取得。勉強や読書。親との話し合い。受検生の覚悟。自己PRに繋がることを身に付ける。進路選択のため積極的に自ら取り組む。広い視野を持つ。学校生活で「頑張った、積極的に取り組んだ」と自信を持って言えるものをつくる。生徒会活動や部活動、ボランティア活動等に参加する。評定を下げないようにする(課題提出)。授業の復習。就職希望者はアルバイトは経験しておいた方が良い。生徒指導を受けない。面接ノートを仕上げる。複数の学校を見たり調べたりする。先生を味方に付けること。自分の長所や短所を把握する。アピールポイントを増やし答えられるようにする。成績を伸ばす。はっきりと相手に物事を伝える。生活習慣を整えておく。欠席をなるべく減らす

⑦後輩に伝えたいこと

日頃からやっている勉強や発表等もどこかで役立つと思います。仲間を大切に。オープンキャンパスや職場体験は絶対参加した方がいい。余裕を持って取り組むといいと思う。とりあえず頑張る。ON,OFFをしっかりと。周囲の合格が決まっても最後までやり遂げること。3年生は支えられていることを実感し、人に感謝し、人の為になりたいと思える貴重な1年です。学校により小論文の出題傾向は全く違うので、まずは色々なジャンルの内容に取り組むべき。地域を絞り込んでから学校を探すとうまく決められた。評定は少しでも上げた方がいい。志望校が早く決まれば、それだけ準備や対策がしっかりできる。悔いの無い生活を送って欲しい。面接練習はいろいろな先生にお願いした方がいいです。受験日が近づいても焦らないように。音楽系専門学校の面接は、専門についての質問が多いので大丈夫です。提出物はしっかり出す。全力で自分をアピールしてください。不安を軽減するには受験対策をしっかりとるしかない。敵は他ではなく自分自身。他を気遣ってあげられる余裕のある人になってください。